

身近にないので先生がリスの形を用意しておいて材料を渡した。先生のねらいは、勿論、子どもの創造性を伸ばすことにあります。その中にはいろいろな過程があると思います。……」

この答は、まさにその通りで、一つの教育観を明解に示していると思う。

レディネスの問題ともいえようし、またこれは用を含んだデザイン学習の形によく似ている。デザイン学習の場合、もうつくりや、形ぬり、形のこしのしごとなどは一種のぬり絵である。用のためのデザインでは、やはり学年の発達段階に応じて、ある程度の用意が必要なのはしばしばある。この場合なども、みんなでダンスをおどるのにどうしてもリスが必要だったのであろう。

一さいのぬり絵は悪だ、いかなる保育活動の中の少部分といえども許せないという考え方も成立つことも認めるが、しよせん、これは教育観の違いである。

私なども日頃、教育主義というか、学校主義というか、もっと学校や園に密着した美術教育というものの誕生を痛感している一人である。

このような観点から民間美術教育の論と実践に敬意を表しながらも、いかに教育現場のレールにのせるか、園や学校の中ではどう考えるかという、近視眼的でない、巾のひろい、場に即応した考えをとりたいたいと念願している。

今、静かに考えてみると、ぬり絵を質問された方も、答えた方も、正しい立場に立ってそれぞれの見、か、いを述べておられたものであって、そのために、軽くあしらわれていたぬり絵の問題一つにせよ、多くのまだ未解決の世界について、真剣に考えるときを与えていただいたことは、一つの収穫であったのではなからうか。

\* \* \*

## 幼児の教育 第五七巻 第七号

十一月号 © 定価 五十円

昭和三十三年十月二十五日印刷

昭和三十三年十一月一日発行

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行者

東京都文京区大塚町三五

お茶の水女子大学付属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都板橋区志村町五番地

印刷所 凸版印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京一九六四〇番

◎本誌の購読についてのご注文は発売所 フレーベル館 にお願いたします。